

令和6年度 岐南町立北小学校 学校経営の全体構想

学校の
教育目標

豊かに生きる子 ～ 考える子 思いやる子 やりぬく子 ～

【羽島郡二町教育委員会の方針】

様々ななかかわりの中で学び、社会の一員として貢献できる
社会人の育成
◇家庭・社会の期待に応え、夢と自信をもち、可能性に挑戦
するために必要な力の育成
◇個性や能力を発揮して活躍し、学び続ける、活力と連帯感
のある人づくり

【学校の課題】

○主体的に学ぶ意欲と確かな学力の定着
○自己肯定感、思いやりの心、ねばり強くやりぬく心の育成
に向けた指導
○仲間とのよりよい関わり方を身に付けるための指導
○家庭、地域との望ましい連携の構築

【めざす学校】

誰もが「前の自分より、今の自分が好き」といえる学校
～ 笑顔でつながる北小学校にしよう ～

【めざす児童の姿】

考える子・やりぬく子

学習や運動にねばり強く取り組み、自己有用感・自己肯定
感がもてる子

思いやる子

多様な他者を受け入れ、誰に対しても思いやりの心で接す
る子

考える子・やりぬく子

学級や学校の生活をよりよくするために、自分たちで考え
行動する子

【めざす姿に近づくために大切にしている指導】

- (1)スマイル宣言(3つのじまん)を本物にすることをめざ
し、自治力を高める学級活動・児童会活動の充実
- (2)自己決定の場をつくり、それを自己肯定感や当事者意
識につなぐ指導
- (3)多様な他者を理解し、受け入れる場の設定と思いやり
の心を育む道徳教育の充実(いじめ未然防止対策)
- (4)児童の特性の理解と望ましい支援に向けた特別支援
教育の充実

考える子 ＜学びづくり＞	思いやる子 ＜心づくり・仲間づくり＞	やりぬく子 ＜体づくり・生活づくり＞
①しっかり聞いて たくさん発表します □自ら挑戦しようとする土台を育む授業づ くり ①ねらいの明確化 ②必然ある課題 ③解決に必要な基礎・基本の定着 ④自分で考え仲間と協働した学びの実現 ⑤まとめと評価 □特別支援教育の充実 ・全職員体制でのサポート ・計画的な職員研修 □ICTの活用、情報モラル教育の推進 □読書習慣の定着と深化 ・国語科学習における読書指導 ・調べ学習への活用推進 □家庭学習の習慣化・充実 ・自ら進んで学ぶ内容と方法の指導 ・家庭との連携	北小スマイル宣言 ②自分からあいさつをします □互いに認め合える学級づくり（特別活動） ・思いやり行動の実践 ・なりたい自分づくり宣言 ・自己有用感の裏付けによる自己肯定感の 向上のための指導 ◎日常的に『ありがとう』を伝え合う指導 □小集団活動を軸にした、よりよい人間関係 の醸成 ・係活動、委員会活動、生活班での活動等 □いじめ未然防止・道徳教育・人権教育の充実 ・『自己を見つめる』道徳授業の充実 ・よさ見つけによる活動の価値の見える化 ・教育相談、こころのアンケート ・ボランティア活動の広まりと定着 □児童会活動の充実 ・誇ることができる活動づくり ・縦割り活動の充実	③一生懸命そうじをします □健全な学校生活づくり ・けが、疾病の予防 ・危険の自己認知 ・歯磨きの徹底 □働くことの意義の理解 ・無言清掃の徹底と充実 □社会参画意識の醸成 ・係、委員会などの常時活動の充実 □自分で自分の身を守る意識の向上 ・様々な想定をした訓練の実施 ・登下校指導の徹底（家庭・地域との連携） □運動の習慣化による体力の向上 ・児童の実態分析→効果的な運動の実施 ・縦割り活動の効果的な活用 ・チャレンジスポーツ in ぎふの活用 □望ましい食習慣や食生活の指導 ・給食指導 ・「早ね、早起き、朝ごはん」の推奨

「この仲間とともに働くことに喜びや誇りをもてる」同僚性の高い職員集団

- 職員の共通理解・共通行動によって、危機管理や生徒指導（いじめ未然防止や不登校対策等）の徹底を図る。
- コンプライアンスに対する知識・意識を高め、不祥事を未然に防止するとともに、児童・保護者・地域から信頼される学
校づくりをする。
- 社会の変化に対応して、学校教育に求められる内容についての研究と修養に努める。

（例 学級経営、教科指導、生徒指導、保護者対応、ICT活用、特別支援教育、不祥事根絶、学校地域協働活動、幼保小連携、小中連携）

【コミュニティ・スクールの充実】

- 地域の教育力を生かした行事や活動の場の設定
- 地域へ学校教育活動の情報発信
- 地域行事への積極的な参加
- 隣接するこども園との交流

【保護者との信頼関係づくり】

- 迅速で配慮のある連絡と連携
- 保護者の思いを共感的に受け止め、同じ目標を共有する関係の構築
- 学校便りや学年・学級通信、すぐる、ホームページを活用した情
報発信